

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	一般・退職被保険者等療養費支給事業			事業コード	1671
担当課等	所属名	市民部 健康保険課	担当係名		
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	三河奈美	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード 2	関連予算 費目名	国民健康保険費特別会計 2款 1項 3目 一般被保険者療養費(001-01) 国民健康保険費特別会計 2款 1項 4目 退職被保険者等療養費(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 29年度～)					
事務事業の概要	国保加入者が保険医療機関または保険薬局で受診した際に、やむを得ない理由によって保険証を提示できなかったため一旦、全額自己負担した場合や、医師の指示によりコルセット等の治療用装具を購入した場合、申請によって保険者負担分(7割、8割、9割)の給付を行う。					
根拠法令等	国民健康保険法第54条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
国民健康保険法の規定に基づき、昭和29年2月から盛岡市の国民健康保険事業の一環として実施						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
療養費についてのお知らせ通知を受け取った市民から、内容についての問い合わせが寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成20年度から長寿医療制度が始まり国保加入者は減少したが、支給額は増加傾向である。柔道整復施術、はりきゅう、マッサージ等の支給が周知されつつあり、今後も給付額は増加すると思われる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 療養費申請者	単位	人
			B.	単位	
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 療養費受付件数	単位	件
			B.	単位	
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 療養費支給額 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	千円
			B. 療養費申請件数1件あたりの支給額 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	千円
			C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	保険者負担額(単位: 千円) 1人当たり療養諸費用額(単位: 円) 現年度収納率(単位: %) 実質単年度収支額(単位: 千円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	療養費申請者	人	15691	17836	17850	18225	18250	18250	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	療養費受付件数	件	15691	17836	17850	18225	18250	18250	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	療養費支給額	千円	105108	117968	116335	117417	132938	132938	年度
成果 指標B	療養費申請件数1件あたりの支給額	千円	6699	6614	6517	6442	7284	7284	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	105,108	117,968	116,335	117,417	132,938	132,938	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	105,108	117,968	116,335	117,417	132,938	132,938	*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	105,108	117,968	116,335	117,417	132,938	132,938	*****
	延べ業務時間数	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	109,908	122,768	121,135	122,217	137,738	137,738	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 10割の自己負担した被保険者に対して保険者分を支給することにより、受診者の医療費負担が軽減できる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 加入者からの申請をもとに審査し支給する事業であるため。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 国民健康保険法に規定されているため休廃止はできないが、もし休廃止すると被保険者の負担が大きくなることから、適切な治療等を受けることが困難になると考えられる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 後期高齢者医療制度や各保険者ごとの療養費支給事務 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 健康保険事業は、保険者単位で独立採算制のため
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費は、法令で定められた保険者負担分であり削減できない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 申請件数は増加しており、事務に関わる人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会(いつでも保険医療機関等で受診できる)と費用負担(最終的な自己負担は保険証等で示された割合で済む)は当該事業によって公平公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会(いつでも保険医療機関等で受診できる)と費用負担(最終的な自己負担は保険証等で示された割合で済む)は当該事業によって公平公正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 柔整整復施術、はりきゅう、マッサージ等の給付額は今後も増加すると思われる。 療養費の支給の適正化に向け、平成22年度から療養費通知を年3回実施しており、被保険者に受診実績を認識してもらうほか、施術所からの請求内容も確認してもらっている。 今後は、さらに給付の適正化を図るため、施術内容を被保険者や診断書の証明医療機関に対し、確認していくことが必要となっている。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> 時期: 年度から <div style="text-align: center;">↓</div> 方向付けの理由と改革改善の内容		<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			